

令和5年2月期 業務実績報告書（経営総務課）

一 般 事 項

1 水道料金調定関係

項 目	単位	A 当当期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,088	334,529	333,700	334,270	829	259
2 調定水量	m ³	622,040	6,980,816	7,097,000	7,070,211	△ 116,184	△ 89,395
3 調定料金(税抜)	円	167,115,126	1,877,235,015	1,896,000,000	1,895,122,347	△ 18,764,985	△ 17,887,332
4 口振加入件数	件	24,759	275,115	—	275,701	—	△ 586

2 下水道使用料調定関係

項 目	単位	A 当当期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	18,921	208,081	207,520	204,867	561	3,214
6 調定水量	m ³	388,448	4,311,654	4,269,300	4,325,028	42,354	△ 13,374
7 調定料金(税抜)	円	61,781,281	684,755,367	673,565,000	684,690,987	11,190,367	64,380

3 給水業務関係

項 目	単位	A 当当期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	75,356	—	76,618	△ 1,262
9 給水件数	件	29,968	—	29,991	△ 23
10 開栓処理件数	件	166	2,609	2,452	157
11 閉栓処理件数	件	169	2,768	2,630	138
12 給水工事設計審査	件	32	462	511	△ 49
13 給水工事竣工検査	件	67	643	581	62
14 経年メーター交換	件	381	4,147	3,505	642
15 メーター口径変更	件	3	59	69	△ 10
16 督促状発送数	件	1,372	14,911	14,592	319
17 月末停止件数	件	100	—	85	15

4 排水設備業務関係

項 目	単位	A 当当期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	14	327	324	3
19 排水設備工事完了検査	件	24	322	301	21

5 水道料金徴収関係

項 目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率
20 当年度分	197,479,888円	90.44%	197,260,615円	89.64%
21 過年度分	3,152,097円	98.32%	3,798,326円	98.03%
22 計	200,631,985円	-	201,058,941円	-

6 下水道使用料徴収関係

項 目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率
23 当年度分	80,784,315円	89.27%	79,316,417円	89.46%
24 過年度分	594,903円	99.24%	615,587円	99.22%
25 計	81,379,218円	-	79,932,004円	-

7 受益者分(負)担金徴収関係

項 目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率
26 当年度分	740,900円	98.02%	901,400円	97.40%
27 過年度分	1,628,400円	26.34%	2,291,100円	14.16%
28 計	2,369,300円	-	3,192,500円	-

登米市 水道・下水道事業キャラクター



スイちゃん ジョーくん 水守(みもる)さん

特 記 事 項

1. 2月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

・ 上水道事業

ア 収益的収支

当期の給水収益は183,737千円(税込)で、前月期に比べて1,341千円の減、対前年同月比では2,208千円の増となっています。営業収益は184,089千円、営業外収益は補助金や事務手数料など14,265千円となりました。

当期の営業費用は委託料や動力費など94,440千円、営業外費用は企業債利息21,608千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、一般会計出資金及び加入金として154,249千円の執行となりました。支出は、建設改良費として工事請負費や事務費など28,152千円、企業債償還金として162,878千円を執行しました。

ウ たな卸資産購入

当期の支出は、緊急用資材購入費用として352千円を執行しました。

・ 下水道事業

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は67,696千円(税込)で、前月期に比べて1,236千円の減、対前年同月比では1,023千円の増となっています。営業収益は68,521千円、営業外収益は負担金など1,536千円となりました。

当期の営業費用は委託料や動力費など84,224千円、営業外費用は企業債利息として34,841千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、企業債及び国庫補助金として200,240千円となりました。支出は、建設改良費として工事請負費や事務費など14,700千円、企業債償還金として171,666千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 上下水道事業運営審議会が開催されました

第9回上下水道事業運営審議会が2月1日(水)に開催され、水道事業当初予算、下水道事業当初予算及び登米市下水道事業経営戦略の改定について審議を行いました。委員からは「PDC Aサイクルにより事業を向上していくと思うが、目標数値設定により目標を明確化したほうが良いのではないか。また、広報活動を推進し、市民に対して事業内容の理解に繋がる努力を行ってほしい」との意見を頂きました。



【運営審議会開催状況】

(2) 登米市議会定例会2月定期議会について

2月2日(木)に令和5年登米市議会定例会2月定期議会が開会しました。上下水道部では「登米市給水条例の一部を改正する条例」や「登米市下水道条例の一部を改正する条例」など6件を提案しました。条例改正については、2月24日に原案のとおり可決されました。

また、代表質問や一般質問では「水道料金、下水道使用料の改定について」などの質問を頂き、上下水道事業の責務はサービスを持続的かつ安定的に提供することで、市民生活の安定を図るものと考えている。その対応である料金等の改定を行うので、ご理解願いたいと答弁を行いました。

令和5年2月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	760,083	9,122,159	8,906,810	9,073,160	215,349	48,999
総配水量	706,345	8,526,150	8,324,130	8,479,614	202,020	46,536
1 有効水量	682,392	7,570,084	7,657,250	7,577,921	△ 87,166	△ 7,837
(1) 有収水量	626,076	7,029,665	7,145,400	7,117,526	△ 115,735	△ 87,861
(2) 無収水量	56,316	540,419	511,850	460,395	28,569	80,024
2 無効水量	23,953	956,066	666,880	901,693	289,186	54,373
(1) 漏水量	23,481	943,793	660,000	896,581	283,793	47,212
(2) その他無効水量	472	12,273	6,880	5,112	5,393	7,161
3 有収率	88.64%	82.45%	85.84%	83.94%	-3.39%	-1.49%

※ 当月期の最大配水量は、1日（水）に記録した【27,213m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
浄水施設整備事業	6	64,020	6	54,846	0	0	9,174	85.7%
配給水施設整備事業	55	1,095,902	35	693,305	19	121,005	281,592	74.3%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 浄水汚泥の搬出について

2月10日（金）から18日（土）まで、保呂羽浄水場及び石越浄水場において、浄水処理により発生した浄水汚泥の搬出作業を実施しました。汚泥搬出は、浄水施設等維持管理業務の委託業務として年1回実施しています。この汚泥は、(株)吉田レミコン宮城リ・ソイルセンターへ搬出し、土木資材として活用されることとなっています。



【石越浄水場汚泥積込作業状況】

2 保呂羽浄水場再構築事業基本契約の締結について

保呂羽浄水場再構築事業の基本契約について、優先交渉権者（代表企業 メタウォーター株式会社 東北営業部）と令和5年2月1日に締結しました。

設計建設工事期間については、事業者提案により1年短縮し、令和12年3月31日まで、保全管理業務期間については、通水開始から20年間となります。

現在は、設計及び建設工事請負契約及び保全管理業務委託契約について、令和5年3月の契約締結に向けた協議を行っています。

◎ 漏水調査結果について

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m ³ /h)
	配水管	67	253.562
	付属施設	0	0.000
	給水装置	68	69.047
	計	135	322.609

【漏水調査結果：4月～2月（累計）】

※参考：漏水削減効果（金額換算）
 約 約2,150,821円/日当たり
 算定：R3年度給水原価 277.79円
 累計漏水量 332.609m³/h
 322.609m³/h×24h×277.79円

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D)		備考
				対前年度 (B)-(C)		
公共下水道(迫・中田・登米・南方)	256,767	3,189,368	2,932,381	256,987		1処理場
特定環境保全公共下水道	46,295	588,224	601,172	△ 12,948		3処理場
米谷・錦織処理区	9,396	120,433	129,034	△ 8,601		
豊里処理区	26,856	342,033	341,629	404		
津山処理区	10,043	125,758	130,509	△ 4,751		
流域関連特定環境保全公共下水道(石越)	12,031	136,652	140,271	△ 3,619		
農業集落排水	92,570	1,236,162	1,231,684	4,478		24処理場
迫地区	7,308	98,353	107,987	△ 9,634		
東和地区	2,678	31,569	33,412	△ 1,843		
中田地区	25,597	294,992	337,673	△ 42,682		※水量訂正
豊里地区	1,603	21,334	21,658	△ 324		
米山地区	36,979	558,112	512,424	45,689		※水量訂正
南方地区	18,405	231,802	218,530	13,272		R4.4.1時点
浄化槽(特地・個排)	42,195	474,288	459,588	14,700		2,015基
合計	449,857	5,624,694	5,365,096	259,598		

※各処理場ごとの処理水量及び有収水量などの内訳は、別紙登米市下水道施設等維持管理状況報告書を参照。
 ※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	13	536,261	7	395,379	0	16,926	123,956	76.9%
ポンプ施設整備事業	1	25,000	1	23,100	0	0	1,900	92.4%
処理施設整備事業	82	334,091	16	144,923	63	88,085	101,083	69.7%

※金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計金額を記載。件数は、更新工事を除いた件数を記載。

特記事項

1 産業廃棄物処理場の現地確認を実施

令和5年2月9日に、宮城県の産業廃棄物の処理の適正化等に関する条例に基づく産業廃棄物処理場の現地確認を実施しました。現地確認を実施した処理場はUBE三菱セメント(株)の施設で、下水道汚泥などの廃棄物をセメント原料として資源化しており、登米市からも年間700t程度を搬入しています。現地確認の結果、搬入している汚泥は適正に処理されていることが確認できました。



【現地確認の状況】

2 中田町宝江新井田地区外の舗装復旧の完了

中田町宝江新井田地区外の舗装復旧が完了しました。この工事は、過年度に管渠の埋設を実施し仮復旧の状態だった、中田町宝江新井田、迫町平柳及び南方町雷地区の道路舗装の本復旧を行ったものです。この工事においては、各地区の合計で施工延長L=1,061.3m、舗装面積A=4,915m²の復旧を実施しました。



【舗装本復旧の完了】